

コネクタガイド

レモ プラグ パーツナンバ 解説書 ●



レモジャパン株式会社

本社
東京都杉並区高井戸東 4-10-3
TEL : 03-5344-3933
FAX : 03-5344-3935

HP www.lemo.co.jp

神戸営業所
神戸市灘区桜口町 4 丁目 1-1-301
TEL : 078-846-2002
FAX : 078-846-2036

E-mail lemoinfo@lemo.co.jp

前書

このガイドは パーツナンバーが不明なレモのプラグの 正しいパーツナンバーを見つけるための解説書です。これにより、レモのプラグの正しいパーツナンバーを特定する基本的ステップが解り、最も適したレモのコネクターを選択することができます。この書類に載っていない製品を見つけるには、レモのウェブサイト <http://www.lemo.com>、もしくは、カタログをご覧ください。お使いになるケーブルまたは、ケーブルのサイズが判っていると正確に選定ができます。もっと詳しくお知りになりたい場合、または複雑なモデルをお使いの際はレモジャパン営業部（03-3811-2161）にお問い合わせください。

早く知るには

プラグがかんごうする相手のパーツナンバーをお知りになりたい場合は、レモのウェブサイトにあるパーツナンバーサーチ機能をお使いいただくのが 簡単で早い方法です。HPを開き、その上で、“製品の詳細”ページの“Find Mate”をご覧ください。

ステップ

1 プラグがレモの正式製品かどうか見分ける

B, K, Eシリーズにはレモ特有の板チョコレート状のブロックパターンがあります

Sシリーズにはギザギザの帯があります



板チョコレート状のブロックパターン



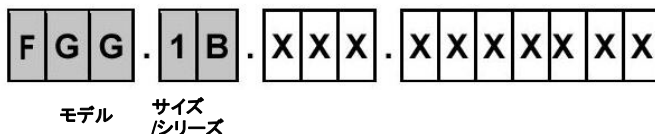
ギザギザの帯

レモ製ではない類似プラグの例 （これらの類似品をレモのソケットと組み合わせて使用すると問題が発生することがありますのでご注意ください）

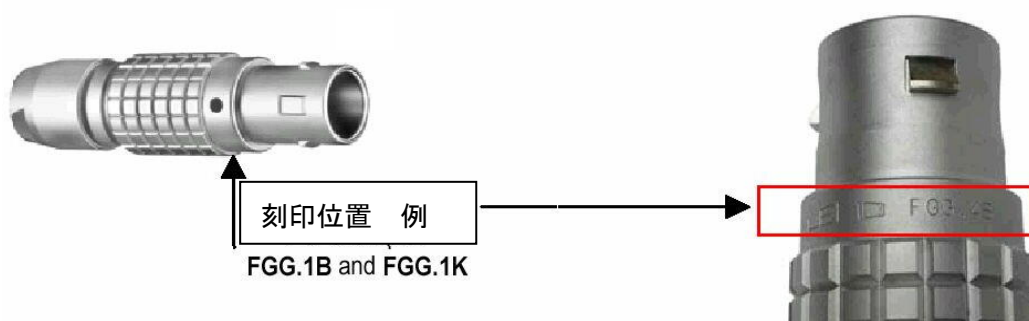


このステップでレモの製品であることが確認し、次のステップに進んでください。

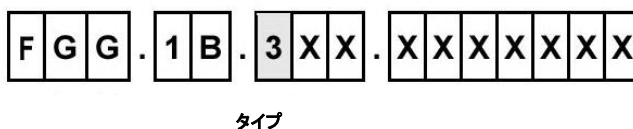
2 モデル、サイズ、シリーズを見分ける（1桁-5桁）



レモ社のプラグにはシェル形状によって、適合するモデル、サイズ、シリーズがあります。例えば：FGG.1B.（3番目の文字はキーを示します。）の'G'は最も一般的ですが、他のキー構成もお使いいただけます。（カタログをご参照ください）

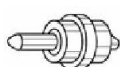


3 インサートとコンタクトのタイプを見分ける（6桁目）



インサートとコンタクトのタイプを見分けるには、プラグのノーズの部分をご覧ください。

シングルコンタクト 単極の電気コンタクトであったなら、それは**低電圧**ピン、同軸、3軸、**高電圧**コンタクトのいずれかです。更にこれらのインサートとコンタクトのタイプを特定するには同軸コンタクトガイドをご覧ください。最も一般的なシングルピンコンタクトである'低電圧'ピンでは製品番号の6番目の桁に'1'の番号がはいります。同軸コネクタの場合は'2'が、高電圧（アンチクリープスペーサ付）の場合は'4'が、トライアックスの場合は'6'が入ります。

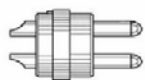


シングルピン

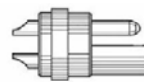


同軸

マルチコンタクト 多極であれば、低電圧、同軸、3 軸、高電圧、ファイバーオプティック、もしくは これらのコンビネーションのいずれかです。最も一般的な多極コネクタである低電圧ピンの場合には製品番号の 6 番目の桁に” 3” の数字がはいります。



2ピン、Bタイプインサート



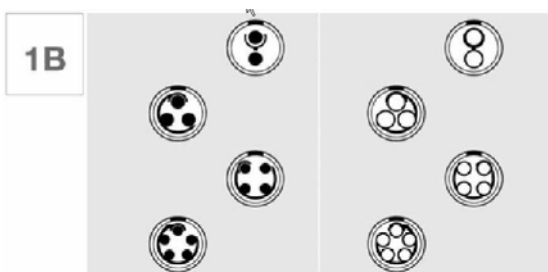
オスメス共存、Sタイプインサート

4. インサートとコンタクト構成を見分ける (7, 8 桁目)

F G G . 1 B . 3 0 5 . X X X X X X X

6 桁目の特定ができれば (上記の例では3)、今度は次の 2 つの数字 (7, 8 桁目) を特定します。低電圧の構成の場合では、ピンの数を数えてウェブサイトページの [パーツナンバーの説明](#) のページまたは、ステップ2で特定したシリーズのカタログを見て、そこにある’タイプ表’にて調べてください。表の例は下記に記してあります。これはマルチピン低電圧インサートの5ピンは’タイプ’305です。

参照パーツナンバー	コンタクトの数	コンタクト直径(mm)	コンタクトの種類				ハンダ		クリップ		定格電流(A) 1)
			ハンダ	クリップ	プリント基板<ストレート>	プリント基板<エルボ>	試験電圧(kVrms) 1)	コンタクト-コンタクト	試験電圧(kVrms) 1)	コンタクト-コンタクト	



302	2	1.3	●	●	●	●	1.50	1.35	1.70	1.45	15.0 ²⁾
303	3	1.3	●	●	●	●	1.30	1.55	1.60	1.85	12.0
304	4	0.9	●	●	●	●	1.35	1.45	1.70	1.80	10.0 ²⁾
305	5	0.9	●	●	●	●	1.25	1.15	1.30	1.55	9.0 ²⁾

5. シェル素材を見分ける (9桁目)

F	G	G	.	1	B	.	3	0	5	.	C	X	X	X	X	X	X
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

シェル素材

9番目の桁ではシェルの素材を表しています。最もよく知られているシェル素材はつや消しクロムメッキの真鍮で、“C”の文字で示されます。酸化アルミ合金は“L”の文字で示されるようにここを選択によって代えられます。詳細及びシェル素材コードは、レモのウェブサイト及びカタログの[パーツナンバーの説明](#)のページに載っています。

6. インサートの素材を見分ける (10桁目)

F	G	G	.	1	B	.	3	0	5	.	C	L	X	X	X	X	X
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

インシュレーターの素材

10番目の桁ではインサートのインシュレーター素材を特定しています。最も普通なインサートの素材は‘PEEK’プラスチックです。色は薄いベージュで、‘L’（またはY）の文字で示されます。同軸インサートはほとんどがテフロン製です。白色で、“T”の文字で示されます。他のインサート素材も使用できますので、カタログの表をご覧ください。素材を確定できない場合はレモにお問い合わせください。

7. 端末処理を見分ける (11桁目)

F	G	G	.	1	B	.	3	0	5	.	C	L	A	X	X	X	X
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

端末のタイプ

11番目の桁では端末のタイプ（コンタクトのタイプ）が示してあります。端末がハンダの場合にはタイプ“ A ”です。クリンプ接続の場合は“ C ”です。Bシリーズでは、リバースセックス構成（逆芯、オスプラグに対してオスでなくメスコンタクトを実装）用にメスハンダピンのタイプ“ L ”またはクリンプタイプ“ M ”があります。（備考：この場合、特定のキーが指定されることもあります。例えばリバースセックスコネクタ用専用のJキーです。ステップ2をご覧ください。）

8. コレットのサイズとタイプを見分ける（12桁目）

F G G . 1 B . 3 0 5 . C L A D 5 2 ?

コレットのサイズ

コレットのサイズを確定するためにケーブルの直径を測ってください。カタログのコレット表をご覧になって、ステップ2で確定したようにサイズとシリーズを適切な表からみつけてください。ケーブルに一番合った最大、最小寸法を見つけ、ケーブルに一番合った'参照タイプ'を探してください。

コネクタがケーブルに接続されていない場合は、サイズを決めるため、コレットの内側の直径を測ってください。

末尾の桁の文字（?）はオプション（バンドリリーフ等）により決まります。通常のモデルの場合にはこの12桁目は使用しません。

参照コード		コレット直径		ケーブル直径		コレットパーツ番号	
タイプ	呼び直径	A	B	最大	最小		
1B	M	27	2.7	-	2.6	2.2	FFC.00.727.CN
	M	31	3.1	-	3.0	2.6	FFC.00.731.CN
	D	42	4.2	-	4.0	3.1	FGG.1B.742.DN
	D	52	5.2	-	5.0	4.1	FGG.1B.752.DN
	D	62	6.2	-	6.0	5.1	FGG.1B.762.DN
	D	72	7.2	6.7	7.0	6.1	FGG.1B.772.DN
	D	76	7.6	6.7	7.5	7.1	FGG.1B.776.DN 3)

9. レモのプラグのパーツナンバーの構成の要約

